

2007 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教育教職3回生	担当者 金川 廣一郎
授業テーマ 学校教育の現状と国語教育が担っている役割と課題を検証します。この活動を通して卒業研究の道筋を探ります。		
授業の概要と目標 なぜ国語の教育をするのか、何を目的して行われるのか。読解指導のみに偏らず、話すこと・聞くこと・書くことも中心に据えながら、「国語科」の学習および学校教育現場にて必要なさまざまな知識と技能を身につけられるように取り組みます。		
評価方法 出席状況、発言や活動の様子、ゼミナールの運営への積極性、レポートなどによって総合的に判断します。		
テキスト 必要に応じてプリントなどで配布します。	著者	出版社
参考書 必要に応じて授業の中で紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 参加者全員で積極的に研究報告を行い、話し合いを通して互いに高め合ってもらいます。また、知識や情報は、実際に試してみてもそ自分のものになります。ロールプレイや模擬授業的な場を通して、卒業研究に向けた問題意識の高まりを期待します。授業には積極的な姿勢で臨んでください 1. オリエンテーション 2. 今、学校で起こっていること① 3. 今、学校で起こっていること② 4. 自らの体験との比較 5. 教育実習に向けて① 6. 教育実習に向けて② 7. 教育実習に向けて③ 8. 図書館等の文献検索 9. 授業中に必要な活動① 10. 授業中に必要な活動② 11. 授業中に必要な活動③ 12. 教育実習を終えて 13. 教育実習から学んだこと① 14. 教育実習から学んだこと② 15. 研究テーマについて① 16. 文献講読と実践①(国語について) 17. 文献講読と実践②(国語について) 18. 文献講読と実践③(国語について) 19. 文献講読と実践④(国語について) 20. 文献講読と実践⑤(国語について) 21. 研究テーマについて② 22. 「実践アクセス講義」(ゲスト・ティーチャー) 現職の先生による講義「教育現場で求められている資質について」① 23. 教育現場で求められている資質について② 24. 教育現場で求められている資質について③ 25. 教育現場で求められている資質について④ 26. 卒業研究の進め方のイメージづくり 27. 卒業研究に向けての資料づくり① 28. 卒業研究に向けての資料づくり② 29. 卒業研究にむけての発表会① 30. 卒業研究にむけての発表会②		